

# 研究通信

№. 46

1964. 3 刊  
村落社会研究会局  
事務  
東京都港区芝田  
2 / 2  
慶応義塾大学  
三研究室内

## 本年度大会の もち方について

昨年度の総会において、本年度の大会の「課題」を決めなかつたのは、次の各種の方法が考えられたからであります。すなわち(1)会員の研究のなかにみられる共通する問題から共通課題をとりあげるか、(2)自由発表にするか、または(3)共通課題を設けても自由発表をも認めるかの三つであります。いずれの方法をとるかを決めねばなりません。そこで別記の「研究テーマ一覧表」を参照して、御意見を至急事務局までお知らせして頂きたいと存じます。共通課題名を必ず記して下さい。又自由発表希望者はその課題名を是非報告して下さい。